



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年2月5日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ  
コード番号 5726 URL <https://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川福 純司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 所 聡

TEL 06-6413-3310

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	40,910	1.0	8,524	33.8	7,951	18.7	5,508	2.2
2024年3月期第3四半期	41,316	33.0	6,372	139.8	6,697	147.2	5,632	172.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	149.68	
2024年3月期第3四半期	153.06	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	99,896	41,255	41.3
2024年3月期	92,986	38,507	41.4

(参考)自己資本 2025年3月期第3四半期 41,255百万円 2024年3月期 38,507百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		20.00		50.00	70.00
2025年3月期		25.00			
2025年3月期(予想)				20.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	3.3	10,400	25.5	9,400	0.4	6,100	37.0	165.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	36,800,000 株	2024年3月期	36,800,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	1,519 株	2024年3月期	1,518 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	36,798,481 株	2024年3月期3Q	36,798,505 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(四半期貸借対照表に関する注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、国内消費の回復により雇用や所得環境の改善、外国人入国者数の増加が進み、緩やかに景気回復が続きました。一方で人手不足の深刻化や資源・エネルギー価格の持続的な上昇、物価高によるインフレの問題、急激な為替相場及び株価の変動といった不安要素が顕在化しております。また、海外経済も緩やかな回復基調にありますが、世界的なインフレと各国の金融引き締め策、中国での長期化する不動産市場低迷等による景気の停滞感、ウクライナや中東情勢の地政学的リスクが継続しております。加えてアメリカでの政権交代に伴う関税の引き上げや為替市場の変動影響が懸念されるなど、依然として世界経済の景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境について、チタン事業におきましては航空機需要が回復から成長軌道となっていることや世界的なチタンのサプライチェーン再編の影響が継続しており、スポンジチタンの需要は堅調に推移してきました。しかしながら、足元では航空機製造の主要メーカーであるボーイング社において、品質問題に加え約二ヵ月間続いたストライキによる影響から生産機数の回復見通しは不透明な状況であり、サプライチェーンへの影響が懸念されます。また、高機能材料事業においても、2022年秋からの半導体市場における調整局面は継続しております。

こうした中、当第3四半期累計期間の売上高は、40,910百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は8,524百万円（前年同期比33.8%増）、経常利益は7,951百万円（前年同期比18.7%増）、四半期純利益は5,508百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

事業別は以下のとおりとなります。

#### チタン事業

当第3四半期累計期間におけるチタン事業の売上高は販売価格は正や円安効果はあるものの、取引先における在庫積みが前年度で完了し、当年度は実需見合いの調達に移行したこと等により、航空機用途向けが主体である輸出スポンジチタンの売上高は前年同期比2.7%増にとどまりました。一方で、一般産業用途向け主体の国内スポンジチタンについては、一般産業用全体の需要減少や取引先及び最終需要家での在庫調整に伴い同16.8%減となりました。この結果、チタン事業の売上高は37,792百万円（前年同期比3.8%減）となりました。損益につきましては、販売価格は正や操業改善といった収益改善や円安効果等により営業利益は8,380百万円（前年同期比26.8%増）となりました。

#### 高機能材料事業

当第3四半期累計期間における高機能材料事業の売上高は半導体関連のスパッタリングターゲット用高純度チタンの販売量が一部の取引先のスポット受注により増加したことから、3,118百万円（前年同期比54.7%増）となりました。

損益につきましては、同製品の販売増効果により営業利益は144百万円（前年同期は239百万円の損失）となりました。

(参考)

## 事業別売上高

(単位：百万円)

		当第3四半期累計期間	前年同期	増減率(%)
チタン事業	国内	10,922	13,128	△16.8
	輸出	26,869	26,172	2.7
	計	37,792	39,300	△3.8
高機能材料事業		3,118	2,015	54.7
合計		40,910	41,316	△1.0

## 事業別営業利益

(単位：百万円)

		当第3四半期累計期間	前年同期	増減率(%)
チタン事業		8,380	6,611	26.8
高機能材料事業		144	△239	-
合計		8,524	6,372	33.8

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## ①資産

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、99,896百万円と前事業年度末と比べ6,910百万円増加いたしました。これは、売掛金及び棚卸資産が増加したことや、現金及び預金が減少したことが主な要因であります。

## ②負債

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、58,640百万円と前事業年度末と比べ4,162百万円増加いたしました。これは、買掛金及び借入金が増加したことが主な要因であります。

## ③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、41,255百万円と前事業年度末と比べ2,748百万円増加いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年11月6日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,975	3,083
売掛金	21,829	25,118
商品及び製品	10,744	15,151
仕掛品	3,859	2,900
原材料及び貯蔵品	12,983	15,630
その他	238	216
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	55,629	62,097
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,404	8,627
機械及び装置（純額）	8,584	8,834
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	1,126	1,275
その他（純額）	556	578
有形固定資産合計	33,496	34,140
無形固定資産	969	782
投資その他の資産	2,891	2,877
固定資産合計	37,357	37,799
資産合計	92,986	99,896

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,317	7,106
短期借入金	5,800	8,400
未払金	※2 1,708	222
未払法人税等	1,012	1,620
未払消費税等	715	515
設備関係未払金	1,161	1,491
賞与引当金	401	113
その他	429	523
流動負債合計	16,547	19,995
固定負債		
長期借入金	34,300	35,000
資産除去債務	1,540	1,560
退職給付引当金	2,020	2,015
その他	69	69
固定負債合計	37,930	38,645
負債合計	54,478	58,640
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	20,835	23,583
自己株式	△10	△10
株主資本合計	38,507	41,255
純資産合計	38,507	41,255
負債純資産合計	92,986	99,896

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	41,316	40,910
売上原価	31,156	27,855
売上総利益	10,159	13,054
販売費及び一般管理費	3,787	4,530
営業利益	6,372	8,524
営業外収益		
受取利息及び配当金	34	48
為替差益	305	-
不用品売却益	136	290
受取賃貸料	34	35
その他	10	5
営業外収益合計	521	379
営業外費用		
支払利息	161	205
為替差損	-	714
休止固定資産減価償却費	0	0
割増退職金	24	28
その他	9	3
営業外費用合計	196	952
経常利益	6,697	7,951
特別損失		
固定資産除却損	39	357
特別損失合計	39	357
税引前四半期純利益	6,657	7,594
法人税等	1,024	2,086
四半期純利益	5,632	5,508



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

四半期財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

## (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## (税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	チタン事業	高機能材料事業	
売上高			
外部顧客への売上高	39,300	2,015	41,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	39,300	2,015	41,316
セグメント利益又は損失(△)	6,611	△239	6,372

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

当第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	チタン事業	高機能材料事業	
売上高			
外部顧客への売上高	37,792	3,118	40,910
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	37,792	3,118	40,910
セグメント利益	8,380	144	8,524

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,084百万円	2,219百万円

(四半期貸借対照表に関する注記)

1 偶発債務

従業員の住宅資金借入債務に係る連帯保証債務

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
	23百万円	11百万円

※2 債務引受契約

未払金残高のうち債務引受契約により支払期日を延長している未払金残高であります。

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
未払金	1,536百万円	-百万円